

〈東区〉2022.10



しのだ江里子市政だより

札幌市議会
民主市民連合

No.42

〒060-0001
札幌市中央区北1条西2丁目札幌市役所17F
TEL(011)211-3212 FAX(011)218-5121



ゆるぎない想いささえあいの東区

コロナ禍の3年目も早や終盤を迎え、札幌の山々や街路樹もすっかり秋の気配となりました。新型コロナウイルス感染状況も第7波までに及びましたが、収束しつつある今日この頃、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

医療従事者はじめ市民生活を支えてくださるエッセンシャルワーカーの皆様にはこの間、長期にわたるご尽力ご奮闘に心から感謝と敬意を表します。

札幌市議会は9月21日より11月1日まで令和4年度第3定例会を開催し、令和3年度決算を中心に審議を行ってまいります。

昨年からスタートした新型コロナウイルスワクチン接種ですが、すでに4回目、このワクチンはいずれも中長期的な検証がなされていない、治験中であることは忘れてはなりません。

全国でワクチン接種後に健康被害を被られ、亡くなられた方は1,900人を超え、札幌市でも副反応疑いの方は8月末で369人、内亡くなられた方も15人を数えています。因果関係ありと認められた方は1人しかいらっしゃいません。

8月東区の医療機関では、コロナウイルス用ワクチン接種中止を発表され、ワクチンそのもののへの危惧、オミクロン株には効果なし、重症化はないことなどを理由とされました。

北海道からスタートし全国に広がった全国有志医師の会を中心に、コロナウイルスワクチンへの懸念を訴える医師・歯科医師・獣医師は全国で約500名を数え、有志看護師、有志保健師の会などが発足し、声を上げてくださいます。

また、9月21日国会議員25名による『子どもへのワクチン接種とワクチン後遺症を考える超党派議員連盟』も立ち上がり、さらに心強く思う今日この頃です。

“新型コロナウイルスワクチンの5-11歳の子どもに対する接種の「努力義務」の撤回と、生後6か月以上4歳以下への接種見送りを求めます。”

子どもたちのマスク着用も、5月に文科省は各教育委員会へマスクを外す指導の徹底を改めて要請していますが、いまだ子どもたちの顔からマスクが外れる様子はありません。

マスクによる健康被害が心配されます、ご家庭でマスク着用のTPOをご確認ください。

「接種後の副反応を疑う症状に対応する相談・診療体制」
 北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター 0120-306-154
 札幌市新型コロナウイルスワクチン接種お問い合わせセンター 011-351-8646

令和4年度以降の大雪時の主な対策

排雪作業の前倒しと強化

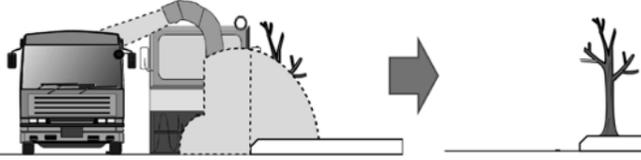
『札幌市雪害対策実施本部を設置し、本部長の指示のもとフェーズ毎に対策を実施』

フェーズ1（運搬排雪の前倒しと強化）

『大雪に備えた早期対応・作業強化』

【排雪作業における対策】

- 幹線道路の運搬排雪の前倒し
- 道路脇の雪山を全て排雪



フェーズ2（応援等による体制強化）

『局地的な大雪に対応する応援等による体制強化』

【排雪作業における対策】

- 担当エリアの運搬排雪が完了したマルチ構成員による応援実施
- 関係団体等に応援を要請し、準備が整い次第支援を受ける



フェーズ3（生活道路の緊急排雪）

『全市的な大雪に対応する生活道路の緊急排雪』

【判断の目安】
 半数以上の区においてパートナーシップ排雪の着手又は完了の遅れが見込まれる場合

【排雪作業における対策】

- パートナーシップ排雪を中止し、生活道路を「幹」と「枝」の路線に分け、緊急排雪を実施
- 「幹」：優先して排雪、緊急車両やごみ収集車両などの走行に支障がない程度の幅とする。
- 「枝」：幹の路線より幅は狭いが、車の走行に支障がないよう、路面の圧雪を削る。
- 市民助成トラック制度の申請団体は、希望があれば制度利用を中止し緊急排雪に移行
- 関係機関・団体・マルチ構成員等による応援実施

【想定される効果】

- 全市的な生活道路の路面状況改善
- 緊急車両やごみ収集車両などの走行性確保



【幹の路線の作業後イメージ】 【枝の路線の作業後イメージ】 【幹と枝の路線（イメージ）】

建設委員会報告（8月23日）

大雪対応を踏まえ3段階で対応!!

2021年度の記録的大雪の検証をもとに、新たな対策が報告されました。積雪深や排雪作業の進捗状況に応じ、3段階の「フェーズ」を設定、段階に応じて、排雪作業の前倒しや応援体制を強化します。雪堆積場は北海道開発局の協力などを得て拡充し、緊急用堆積場をあらかじめ整備します。

フェーズ1の目安「積雪深が50CMに達し、または1か月予報でさらに大雪が見込まれる」

フェーズ2の目安「一部の区で、パートナーシップ排雪の着手・完了が例年より遅れることが見込まれる」

フェーズ3の目安「半数以上の区で、フェーズ2の状況となる」

建設委員会報告（10月4日）**<都心アクセス道路事業に伴う大規模な下水道管移設工事に伴う地域住民説明状況について>****(1) 地域等の住民説明状況について**

今回の工事は、創成川を挟んで中央区・北区・東区の三区に敷設されている内径1.2mから3.5mの下水道管を総延長約12km移設する工事です。また、工事期間は令和5年度から8年度までの4ヵ年、市民生活に影響を及ぼし兼ねない非常に規模が大きい工事ではないのか。

質問：大規模な移設工事を進める上で、地域住民への周知や理解は重要と考えるが、地域への説明はどのように行っているのか伺う。

答弁：地域への説明は、今年6月下旬から連合町内会や単位町内会、また、付近の保育園や小学校などに対して概要の説明を行い、ほぼ終えています。

工事の必要性や工事概要に加えて、工事期間中における交通規制などの影響や2箇所の公園に立坑と呼ばれる、資機材の搬入や残土搬出を行うための、工事用プラントを設置する事、

施工方法は垂直方向に掘り進めた立坑から、横方向に掘り進める、シールド工法や推進工法といったトンネル工法を採用し検討している事についても説明し、トンネル工法は施工区間の通行止めや、車両の出入りに影響を及ぼしやすい開削工法と異なり、交通への影響が少なく市民生活へ配慮した工法であることも説明しています。

(2) トンネル工法に関する地域の声について

近年、道外ではトンネル工法による陥没事故が発生し、多くの方が関心を寄せている。

質問：地域では、今回の工事で陥没の恐れがないか不安を抱いている方もいると思うが、工事説明を行った際にトンネル工法の施工に関する懸念等、どのような声が寄せられたのか？

答弁：不安を抱かれている声があった。

道外であった陥没事故は、公共用地や民有地の地下を、国内最大級の外径が約16mの掘削機で施工する工事であり、これまでになく特殊な条件のもとで発

生した事故。

一方、今回施工する下水道管は全て道路や公園などの公共用地の下を掘削し、掘削機は最大でも外径が約4m程度。

また、創成川通に現在埋設されている移設対象の下水道管は、昭和40年代から50年代にかけて、今回の工事と同様の工法で施工されており、実績が十分あることから、そういった事故の可能性は低いと考えている。

このような考え方のもと、地域町内会等に説明を行いながら概ねご理解を頂いているところですが、施工状況などを注意し事故が発生しないよう現場監理を徹底してまいります。

(3) 工事用プラントを設置する公園の利用制限と地域への対応について

「北18条さくら公園」及び「北37条さくら公園」は今も地域の行事や保育園児等の遊び場など、多目的に利用されている事が多い。

今回、トンネル工事で公園を使用することは、概ね4年間にも渡る長期間の利用制限となり、利用者への負担が大きくなるのではと思う。

質問：工事で使用する公園の利用制限はどのような規模になるのか、また、地域の方々の利用に対しどのように対応する考えか伺います。

答弁：工事で利用予定の2箇所の街区公園は、公園全体を使用するものではなく約半分程度を工事期間中、使用させていただくものです。

また、地域からはラジオ体操や盆踊り、近隣幼稚園の運動会など、様々な利用状況を伺っており、これらのことから、工事用プラントの設置期間中は、利用者への安全対策や周辺住民への騒音を考慮して、防音壁などで完全に締切る対応を行い、周りへの影響が最小限になるように配慮し進めていきます。

“地域の声を伺いながら、事故発生がないよう安全第一で事業を進めることを求めました。”

「自分ごとで考えるまちづくり」**第4回インターンシップ学習会（9.2）**

4人の札幌市職員から自分の仕事とプライベートなどで活動するまちづくりの中身を披露していただく。彼らのような社会人になりたいと熱く思う様子が見て取れました。

<感想>

特に感銘を受けたのは「自分が好きでやっていたことが自分の仕事にもつながったし、その逆もあった。まずは自分の興味のあることを積極的に取り組んで」という言葉に勇気ももらった。私自身は自分の興味のある分野の勉強だけでは将来お金を稼ぐスキルを身につけられず進路に迷っていたが、とりあえず自分が興味を持てる活動や勉強を真剣にやってみようと思えた。そして何より、自分と比較的に年が近い大人たちが実際にどのように働いているか、少しでも知れたのが大きかった。自分が働くときに、こんな風に自分の仕事に誇りと楽しみを見出せるようになりたいと思った。(T・S)

市役所に勤めている方の中でもまちづくりのために全力な方々のお話を伺うことができ、公務員志望の私には刺激を与えられたセミナーでした。Aさんのお話からは、札幌がとても好きだということや、市民やご自身のお子さんが生きる未来を豊かなものにしたい、という思いが伝わってきました。自分の経験や視点によって新しいものを創造することができたという例を伺って、とてもかっこいいなと思いました。グループに分かれてお話しした際も瞬時に私たちへのアドバイスをくださったおかげで、将来のために一歩踏み出してみようと思えることができました。Kさんのお話からは、仕事でもプライベートでも好きなことをして生きたい、後悔のないように生きたい、という熱い思いが伝わってきました。まちづくりを自分ごととして捉えることができる、その考え方にとても感銘を受けました。(S・S)

予告！

しのだ江里子と札幌を語る会

2022年11月11日（金）18時30分～20時
東区民センター大ホール（北11条東7丁目）

〈しのだ江里子のつれづれ日記〉

(7.13) 建設委員会広島県視察
水道・河川事業を聞きました



(7.14) 福岡市下水道
視察汚泥の環境利用



(8.6) ダイ・イン
参加戦後77年の平和とウクライナの
停戦を祈る



(8.22) 命と性の教育を聞く
性の知識は交通ルール、知らない
事故にあう



(9.2) 自分ごとで考えるまちづくりに
インターン生と参加、未来に向けて
共に考える



(9.13) フードバンクイコロ
ボランティア活動を行い、必要とする
方へ思いをはせる



(9.19) クォーター制を推進する会(Qの会)・北海道キックオフ
女性議員0議会をなくすために！

皆様のご意見をお寄せください

しのだ江里子事務所

〒065-0024 札幌市東区北24条東16丁目1-7
グローバリビル2F(元町駅1番となり)
Tel:011-784-1086 Fax:011-792-0081
E-mail:eriko1950@beige.plala.or.jp
URL:http://www.shinoda-eriko.com

“しのだ江里子のつれづれ日記”

毎週月曜日 午前10時5分から30分間放送中
(コミュニティFMさっぽろ村ラジオ 81.3MHz)
(インターネット放送局 ListenRadio(リスラジ))